

令和 7 年 9 月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書
(通告者 17 名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 増田西老人憩の家について	7 番 二階堂 充 (1) 増田西老人憩の家の借地契約の終了が決定してから約 1 年が経過した。これまで代替施設や代替地の検討をしていると伺っているが、現時点での進捗状況について伺う。 (2) みやぎ生協名取西店の 2 階など暫定的に利用できる施設があると考え。増田西老人憩の家を利用している皆さんの活動に支障が生じないように、一定期間借用するなど対応すべき。 (3) サッポロビール仙台ビール園跡地に増田西老人憩の家が建設できるよう、用地の確保など市からサッポロビール株式会社に働きかけるべき。 (4) 増田西老人憩の家を利用できる期限が迫っている中、利用者の皆さんは今後どうなるのか心配している。取組状況などを説明する機会を設けるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
2	1 市有地の活用について 2 台湾桃園市との交流促進協定について	20 番 大泉 徳子 (1) 名取が丘一丁目地内（旧市営住宅名取団地跡地内）の市有地売却の経緯と理由を伺う。 (2) 売却に向け一般競争入札公告等の手続が進められているが、売却を中止し、職場環境維持のためこれまでどおり名取が丘保育所職員駐車場として活用すべき。 (1) 今後予定される具体的な事業展開を伺う。 (2) 観光交流の促進策として、桃園市の民間資本活用による宿泊施設の建設を誘致してはどうか。 (3) 産業経済交流の促進策として、具体的な事業者間交流を実施するためにも、コーディネーターが必要と考える。民間企業との連携により、人的リソースを確保すべき。 (4) 人的交流の促進策として、中学生海外派遣事業の派遣先の 1 つを桃園市とし、若い世代の交流を図るべき。 (5) 人的交流の促進策として、野球等のスポーツや文化面での交流事業を展開してはどうか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 教育長 市 長 教育長	
3	1 医療費削減の取組について	3 番 佐藤 さやか (1) 令和 7 年度の国民健康保険保険給付費における薬剤費の金額とその割合、また薬剤費における後発医薬品使用率の現状について伺う。 (2) 医療費削減に対する本市の取組と課題について伺う。 (3) 茨城県や山形県酒田地区等で導入され医療費削減効果も期待できる「地域フォーミュラリ」に関して、本市ではどのように把握しているか伺う。 (4) 後発医薬品の利用促進や「地域フォーミュラリ」の導入に向けた関係機関との連携により、薬剤費の抑制に取り組むべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
4	1 誰もが共に遊び、育つインクルーシブな遊び場の整備について 2 農業用ため池の水資源確保について	1 1 番 板橋 美保 (1)障がいの有無にかかわらず子供たちが遊べる環境の現状について伺う。 (2)インクルーシブ遊具についてどう把握しているのか伺う。 (3)インクルーシブ遊具の導入や自然を活用した遊び場を整備すべき。 (1)農業用ため池の現状と課題をどのように認識しているのか伺う。 (2)支援制度の周知と活用状況について伺う。 (3)専門的な人材を活用し、より有効な施策を推進し財政的支援を拡充すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
5	1 スポーツで活躍する人への支援の充実について	4 番 佐藤 繁樹 (1)過去3年間のスポーツ振興報奨金交付件数の推移を伺う。 (2)過去3年間のスポーツ振興報奨金の交付対象となった競技の種目数を伺う。 (3)名取市スポーツ振興報奨金交付要綱が平成15年5月27日に施行されて以降、報奨金額の見直しをしたことがあるのか伺う。 (4)市民の努力をたたえ、夢を育み誇りを持つことができる象徴的な制度であるスポーツ振興報奨金について、近年の物価高騰等を踏まえて交付額を増額すべき。	教育長 教育長 教育長 教育長	
6	1 市民体育館の環境整備について 2 市民体育館アリーナの一般公開について	1 5 番 大友 康信 (1)令和6年度から試験的に導入した冷房設備について、効果をどのように把握しているのか伺う。 (2)アリーナのエアコンは発電機による電力で稼働しており、コストが高いと思われる。令和8年度は通常の電力を利用して稼働できるよう整備すべき。 (3)冬場に暖房としても使えるよう、アリーナにエアコンを常設すべき。 (4)玄関周辺のタイルが壊れている。見栄えも悪く危険である。補修の考えとスケジュールは。 (5)名前やメッセージ入りのタイルを用意して、市民や利用者の協力により玄関周辺のタイルを補修する企画をしてはどうか。 (1)利用料金や利用時間などについて、利用者からの評価や意見、要望は捉えているのか伺う。 (2)一般公開の混雑時には、卓球台やコートの利用時間を2部制としているが、導入した経緯を伺う。 (3)2部制の導入は利用者の理解を得られているのか伺う。また、2部制導入による利用の増減等、メリットとデメリットをどのように捉えているのか伺う。	教育長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	3 不登校、登校困難児童生徒の状況把握について	(4) 利用者の利便性向上、利用者数増及び使用料増収のため、未開放の時間をそれぞれ1時間から30分に短縮し、一般公開の時間を拡大すべき。 (1) 目まいや頭痛、腹痛、強い倦怠感など、健康上の理由により不登校や登校困難となっている児童生徒の人数を伺う。 (2) 新型コロナワクチンやHPVワクチン、その他のワクチン接種後の副反応やワクチンの影響による体調不良を理由として不登校、登校困難となっている児童生徒はいるのか伺う。 (3) 新型コロナワクチンやHPVワクチン、その他のワクチン接種後の副反応やワクチンの影響による体調不良は、発症から長期にわたり症状が進行することもある。成長する子供たちを継続的に観察して健康状態の把握に努めるとともに、慎重に対応すべき。	教育長 教育長 教育長 教育長	
7	1 ギャンブル依存症について 2 市民の健康を守る取組について	13番 菅原 和子 (1) ギャンブル依存症が深刻な社会問題となっている現状について、どのように認識しているのか伺う。 (2) ギャンブル依存症の低年齢化が進んでいる。どのように認識しているのか伺う。 (3) 本市の相談体制と取組について伺う。 (4) ギャンブル依存症について市ホームページに掲載し、早期発見できる自己診断テスト「LOST」や相談窓口について周知を図るべき。 (5) 令和6年3月11日付こども家庭庁通知「離婚協議中の者に係る児童手当等の認定について」の中で、ギャンブル等の依存症により受給者変更が可能であるとの記載がある。この通知について周知を図るべき。 (1) これまでの減塩の取組と課題について伺う。 (2) 減塩を意識した食事に変えるよう促すため、健康診断で尿中ナトリウム・カリウム比測定を実施すべき。	市長 教育長 市長 市長 市長 市長 市長	
8	1 自主財源の確保について	1番 阿部 正義 (1) 第六次名取市行財政改革大綱実施計画の取組状況が示された。行財政改革を行う先に市として何を目指すのか、考えを伺う。 (2) 本市が取り組んでいるふるさと納税制度について、実績が毎年減少傾向であるが、課題をどのように捉えているのか伺う。 (3) ふるさと納税制度の歳入確保のため、専門に扱うチームもしくは担当組織を設けるべき。 (4) ふるさと納税制度に特化した民間のコンサルを活用し、より効率的に寄附額を増やすよう取り組むべき。	市長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(5) 基金の債券運用の現状と運用利率、運用方針の考え方について伺う。 (6) 債券発行体の信用格付や満期まで持ち切ることを前提とするなど、債券を購入する際のルールを明確にするよう、債券の適切な資金管理方針を定めるべき。 (7) 基金の債券運用は1年以下の短期運用を主とし、基金全体の収益性を高めるため、個別運用ではなく一括運用すべき。 (8) 基金運用の安全性、流動性を確保するため、特定の期間や金融機関もしくは債券発行体に金融商品が集中しないよう分散運用すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
9	1 令和7年7月30日の津波警報と新たな地区別防災マニュアルについて 2 屋内遊戯施設なとりぱーくについて	6 番 寺嶋 雅子 (1) カムチャツカ半島付近の地震による津波警報において、どのように検証したのか伺う。 (2) 今回の避難状況を見て、住民の避難意識の低下を懸念している。住民の避難が少なかったことや、自己判断での帰宅が多かったことについて、どのように捉えているのか伺う。 (3) 住民以外の避難者の多さが明確になったが、津波避難計画におけるまなウェルみやぎの収容人数をどのように捉えているのか伺う。 (4) 地区別防災マニュアル作成に係る住民ワークショップにおいて、住民の危機意識向上をテーマに参加者の意見を伺うべき。 (5) 学校の長期休暇等で子供のみ在宅の場合を想定し、子供のみでの避難訓練の実施を地域に働きかけるべき。 (6) 携帯電話を持たない子供の留守番中における災害を想定し、防災ラジオの活用を啓発すべき。 (7) 地区別防災マニュアルの巻頭に避難啓発やケース対応のための漫画を用いるべき。また、個人や状況ごとに避難場所の位置や避難経路を書き込める構成にすべき。 (1) 市内外別利用者数とその比率及び年齢の傾向について伺う。 (2) イベント等の取組及び他施設との連携状況について伺う。 (3) 設置者の意向で掲示物に制約があると伺っている。施設内の利用ルールの掲示ができるよう設置者と協議し、制約の緩和を求めるべき。 (4) 市で実施する子育て支援情報や、市内で開催する子供及び親子向けイベントの情報提供をするため、掲示するスペースを設けるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
10	1 令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島付近の地震による津波の対応について 2 増田地区防災広場について	10番 千葉 栄幸 (1)開設された各避難所の避難者総数について伺う。 (2)避難所における自然災害避難支援アプリ「みやぎ防災」の利用状況について伺う。 (3)避難者が多かった閑上小中学校、下増田小学校、まなウェルみやぎの避難者属性について伺う。 (4)避難者に対する備蓄品の配布基準及び配布状況について伺う。 (5)今回の避難指示を早期に総括し、各避難所別の避難者の避難行動や属性を分析することにより、課題や改善点を洗い出し、備蓄品の配布基準や配置数量等の見直しを検討すべき。 (1)増田地区防災広場について、名取市地域防災計画上の位置づけと施設を利用する際の申請部署及び管理部署について伺う。 (2)増田地区防災マニュアルでは、地域住民の一時避難場所などのオープンスペースを確保するために防災広場が設置されたとあるが、運用する際の担当部署と運用方法について伺う。 (3)これまで、市が町内会や自主防災組織等とともに、広場の資機材を活用した防災訓練等の防災に関する利用実績があるのか伺う。 (4)増田地区の防災拠点である防災広場について、防災計画において明確に位置づけし運用を図るべき。 (5)防災広場にある防災資機材について、有事の際に適切な運用が図られるよう一元的に把握し、防災計画に組み入れ、運用すべき。 (6)増田地区内の町内会や自主防災組織、女性防火クラブ等との連携強化を図り、防災広場を活用した地域の防災力強化に努めるべき。	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長	
11	1 防災・減災への取組について	16番 菊地 忍 (1)名取市地域防災計画が修正され、在宅避難者の支援拠点の設置について検討することが明記された。支援拠点の運営は町内会や自主防災組織へ依頼することが想定されることから、事前に協議すべきと考えるがどうか。 (2)名取市地域防災計画が修正され、車中泊避難を行うためのスペースを設置することや車中泊避難者の支援方策を検討することが明記された。車中泊避難についての対応策を早急に示すべきと考えるがどうか。 (3)名取市地域防災計画が修正され、衛星通信を活用したインターネット機器の整備について明記された。どのように取り組むのか伺う。 (4)気象防災アドバイザーを活用し、異常気象による豪雨災害等に対して、災害発生前からの適切な対応がとれる体制の整備を図るべきと考えるがどうか。	市長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(5)避難所にもなる学校体育館への空調整備を早急に 図るべきと考えるがどうか。	市 長	
1 2	1 プラスチック ごみ削減につ いて 2 野生鳥獣対 策について	1 2 番 大久保 主計 (1)プラスチックごみの収集と処理の動向、課題をど のように捉えているか。 (2)市内におけるペットボトルの使用状況と、そのリ サイクル率について捉えているか。 (3)ゼロカーボンシティ宣言都市として、プラスチッ クごみ削減の取組をどのように評価しているか。 (4)ペットボトルの使用削減のため、マイボトル持参 の普及推進と給水スポットの設置を図るべき。 (5)公的な会議や集会、公共施設に設置する自動販売 機においては、ペットボトルを使用しない飲料の提供 に取り組み、プラスチックごみ削減を図るべき。 (1)野生鳥獣対策の現状と課題をどのように捉えてい るか。 (2)住宅地に出没するようになったクマについての生 息状況と、人身及び農作物被害への対策方針と対応す る体制について伺う。 (3)クマの生息環境を尊重しつつ、市民の安全を最優 先にするため、誘引要因を除去し、緩衝地帯を整備 し、非致命的な対応に取り組むのはどうか。そのため には、専門家による組織を立ち上げて、クマをはじめ とする野生鳥獣との共存を目指すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
1 3	1 カムチャツ カ半島付近の地 震に伴う津波へ の対応について	5 番 鈴木 英信 (1)今回の津波警報及び津波注意報に伴う避難区域や 避難指示について課題があるか伺う。 (2)防災行政無線等の情報発信における課題について 伺う。 (3)避難対象地域の避難方法は徒歩が原則であるが、 自動車避難せざるを得ない避難者が想定されてい る。これら特別な条件に関しては、道路環境のリサー チと地域との合意形成を早期に進め、津波対策の実効 性を高めるべき。 (4)第2次防御ラインより東側への防災行政無線や モーターサイレンの追加設置を検討すべき。 (5)避難経路や模範事例等を映像によって可視化し、 日頃からの啓発に役立てるべき。 (6)防災専用サイトを開設し、普段からの啓発と緊急 時の情報提供を充実させるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1 4	1 カムチャツカ半島付近の地震発生時における本市の対応について 2 防災ラジオの有償配布について	2 番 今野 慎介 (1) 児童等の保護者への引渡しについて、各避難所でばらつきがあったと認識しているが、拘束権がない現状で現場での対応をどのように捉えているのか伺う。 (2) 今回、児童センターや認定こども園等からの避難者があり、乳幼児用の備蓄品、特に離乳食などが配備されていないとの声があったが現状を伺う。また、乳幼児用の備蓄品に対してどのように捉えているのか伺う。 (3) 閑上小中学校避難所において、避難場所になっている4階旧ランチルームには冷房設備がない。今回同様、真夏時の避難を想定し、冷房設備を整備すべきと考えるがどうか。 (4) 今回の避難所開設で問題となった箇所を検証し、市民の安心・安全のために児童等の保護者への引渡し要件を整理すべき。また、乳幼児用の備蓄品の見直しを早急に行うべき。 (1) 令和7年3月末現在の防災ラジオの保有世帯数と在庫数を伺う。 (2) 購入方法が分からない高齢者世帯がある。津波避難指定区域内に住んでいる高齢者世帯に対して、優先的に購入方法の周知を図るべき。	市 長 市 長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長	
1 5	1 児童生徒の熱中症対策について 2 人生会議（ACP）の普及・啓発について	9 番 笹森 波 (1) 児童生徒の登下校時における熱中症対策として、子供たちに許可もしくは推奨しているものはあるのか伺う。 (2) 登下校時に日傘、帽子、クールネックリング等の熱中症対策グッズの活用を学校だよりやホームページ等で周知すべき。 (3) 猛暑の影響で授業や部活動にどのような影響が出ているのか伺う。 (4) 屋外での活動に支障がないよう、校庭やプールサイド等にミストシャワーを設置するなど、熱中症対策を講ずべき。 (1) 人生会議についての認識と市民の認知度をどのように捉えているのか伺う。 (2) 本市における市民への人生会議の普及・啓発への取組を伺う。 (3) 人生会議について市ホームページや広報紙に掲載し、普及・啓発に取り組むべき。	教育長 教育長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1 6	1 I C Tと子供の脳について 2 仙台空港の特定利用空港指定について	1 7 番 小野寺 美穂 (1) 子供の学力の変化を見る、国の「経年変化分析調査」(2024年度)の結果が令和7年7月31日に公表された。この結果についてどう捉えているか。 (2) S N Sやゲームなど、デジタル環境の影響も学力低下の要因の1つとして指摘されている。どう考えるか。 (3) I C Tが子供の脳の発達に悪影響を及ぼすことについては、脳科学者からの指摘もなされて久しい。現在G I G Aスクールなども含めて、その普及はさらに著しく進んでいる。このような状況下で、未来を担う子供の発達について懸念を抱いたことはないのか。 (4) スマホ等の所有率や使用時間等の実態調査を行い、専門的知見を活用し、子供の健全な発達のための注意喚起などに踏み切るべき。 (1) 国と地方公共団体の関係について、どのような認識を持っているのか伺う。 (2) 仙台空港の特定利用空港指定について、見解を伺う。 (3) 令和7年7月8日に国による非公開の説明会が行われた。市は、市民が納得するに足りるものと判断しているのか伺う。 (4) 市民からの問合せにはどのように対応するのか伺う。 (5) 憲法第9条に真っ向から反する有事拠点づくりに対し異を唱え、指定候補から外すもしくは指定の撤回を強く求めるべき。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 市 長 市 長 市 長	
1 7	1 学校体育施設の開放について 2 住民監査請求の要件審理について	1 4 番 吉田 良 (1) 令和5年度に一部団体の利用を不許可とした判断について、理由とその判断に至る検討の経緯を伺う。 (2) 営利団体と非営利団体とを区別する基準を伺う。 (3) 令和7年7月、利用が不許可とされた団体に子供を通わせている保護者から、130名近い署名とともに利用許可を求める陳情があった。このことをどう受け止めているのか伺う。 (4) 策定に向けて検討が進められている統一ルールにおいて、1団体当たりの利用回数の上限をどのように設定する考えか伺う。 (5) 適切な受益者負担の仕組みを早急に整備し、営利団体にも施設を開放すべき。 (1) 令和5年度にあった3件の住民監査請求は、いずれも要件不備を理由に却下されたが、その後の住民訴訟において不適法であるとはいえないと判示された。司法とは異なる判断となった理由をどう捉えているのか伺う。	教育長 教育長 教育長 教育長 市 長 教育長 代表監査 委員	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(2) 監査機能の専門性・独立性の強化という課題に、今後どう対応していく考えか伺う。 (3) 個別外部監査の導入の必要性について見解を伺う。 (4) 審理の透明性を高めるため、住民監査請求の結果について、件名等に加え本文を市ホームページで公表すべき。	代表監査委員 市 長 代表監査委員	
3	仙台ビール園等の跡地における開発について	(1) 把握している計画の内容を伺う。 (2) 周辺道路の渋滞が悪化しないよう、あらかじめ対策を講じるべき。	市 長 市 長	